

社団法人 日本雪氷学会
2008 年度通常総会資料

期日： 2008年5月29日（木）

場所： 幕張メッセ国際会議場204

社団法人日本雪氷学会
2008年度通常総会次第

1. 開 会

2. 議長および議事録署名人の選任

3. 議 事

第1号議案 2007年度事業報告、収支決算及び監査報告の承認に関する件

(1) 事業報告 (2) 収支決算 (3) 監査報告

第2号議案 2008年度事業計画及びこれに伴う収支予算について

(1) 事業計画 (2) 収支予算

4. 議長の解任

5. 2008年度井上フィールド科学研究基金助成対象者発表

6. 公益法人制度改革の現況について

7. その他

8. 閉 会

話題提供

「南極ドームふじにおける氷床深層掘削と過去72万年間の地球環境変動の解明」

本山秀明（国立極地研究所）

「雪氷災害調査チームの活躍」

尾関俊浩（北海道教育大学）

第1号議案 2007年度事業報告並びに収支決算書承認に関する件

(1) 事業報告

1. 研究会等の開催（定款第5条2号）

- 1-1. 2007年度雪氷学会全国大会を9月25～28日に富山大学五福キャンパスで開催した。研究発表（参加者：460名，発表：216件），公開講演会（参加者：200名）。
- 1-2. 第18回雪崩対策の基礎技術研修会を1月17～18日に新潟県湯沢町で開催した。参加者：36名。
- 1-3. 公開イベント「雪氷楽会in富山」を9月29日に富山市科学博物館で開催した（文部科学省平成19年度科学研究費補助金による）参加者：275名。
- 1-4. 「雪氷学」「雪氷圏と気候」「コアが拓く地球環境変動史」「2005/2006冬季の大気と雪氷」の各セッションを5月21～22日に開催した。（日本地球惑星科学連合2007大会期間内 会場：幕張メッセ国際会議場）
- 1-5. 第12回構造物の大気着氷に関する国際ワークショップ（IWAIS2007）を神奈川県横浜市で開催した。参加者：国内49名 海外14か国41名，発表：60件。
- 1-6. 各支部・分科会等において研究会等を開催した。

2. 会誌等の刊行（定款第5条3号）

2-1. 和文誌「雪氷」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成19年 5月15日	69	3	1400部
平成19年 7月15日	69	4	1400部
平成19年 9月15日	69	5	1400部
平成19年 11月15日	69	6	1400部
平成20年 1月15日	70	1	1400部
平成20年 3月15日	70	2	1400部

- 2-2. 英文誌「Bulletin of Glaciological Research (BGR)」Vol.25をオープンアクセス電子ジャーナルとしてインターネット上で公開した。
- 2-3. 北海道支部で機関誌「北海道の雪氷」26号をオープンアクセス電子ジャーナルとしてインターネット上で公開した。
- 2-4. 東北支部で機関誌「東北の雪と生活」22号を刊行した。
- 2-5. 北信越支部で機関誌「雪氷北信越」27号を刊行した。
- 2-6. ホームページによる情報発信を行った。

3. その他の事業（定款第5条4号）

3-1. 日本雪氷学会学会賞の表彰を下記に対し行なった。

学術賞（1名） 鈴木啓助

平田賞（1名） 島田 互
論文賞（2件） 松下拓樹，西尾文彦
鈴木亮平，藤田耕史，上田 豊

- 3-2. 中谷宇吉郎科学奨励賞の候補者を推薦した。
3-3. 4支部が各種活動を行なった。
3-4. 当法人に設置された分科会，研究会が各種活動を行なった。
3-5. 井上フィールド科学研究基金による研究助成を2件行なった。
3-7. 各種講演会等の共催（3件），協賛（3件），後援（4件）を行なった。

4. 総務事項

- 4-1. 2007年度通常総会 1 回，理事会7回，評議員会1回を開催した・

通常総会 2007年5月21日
第1回理事会 2007年5月21日
第2回理事会 2007年6月13日～7月2日（文書審議理事会）
第3回理事会 2007年8月21日～9月5日（文書審議理事会）
第4回理事会 2007年9月26日
第5回理事会 2007年11月13日～11月26日（文書審議理事会）
第6回理事会 2008年1月28日～2月8日（文書審議理事会）
第7回理事会 2008年3月12日
評議員会 2007年9月27日

- 4-2. 各委員会が活動を行なった。

- ① 総務委員会 ② 財務委員会 ③ 学術委員会
④ 事業委員会 ⑤ 雪氷編集委員会 ⑥ 広報委員会
⑦ BGR編集委員会 ⑧ 電子情報委員会

会員数の推移は以下の通りである。

	2007. 3. 31	2008. 3. 31
正会員	9 4 5	9 4 4
名誉会員	1 3	1 2
終身会員	4 4	4 4
特別会員	1 9	1 8
賛助会員	8 2	8 3
購読会員	1 3 0	1 1 3

北海道支部

1. 支部総会の開催（北大学術交流会館 4月26日）
2. 春の講演会の開催（北大学術交流会館 4月26日 講演：2件 参加者：80名）
3. 研究発表会の開催（北大学術交流会館 6月21日 発表：26件 参加者：87名）
4. 機関誌「北海道の雪氷」26号（冊子体52部及び電子出版）の刊行
5. ニュースレターNo. 26, 27, 28, 29の刊行
6. 地域講演会の開催（函館市 12月8日 参加者：51名）
7. 理事会・幹事会等会議の開催
8. 共同主催事業（1件）
9. 各種共催事業（2件）
10. 後援事業（1件）
11. 雪崩災害調査
12. 支部ホームページの運営
13. 支部メーリングリストの運営

東北支部

1. 支部総会の開催（秋田県生涯学習センター 5月11日）
2. 研究発表会の開催（秋田県生涯学習センター 5月11, 12日 発表：24件）
3. 特別講演会の開催（秋田県生涯学習センター 5月11日 講演：2件）
4. 積雪観測講習会の開催（八幡平リゾートホテル 1月17日）
5. 機関誌「東北の雪と生活」22号の刊行
6. ニュースレターNo. 39～42の刊行
7. 2007年度東北雪氷賞の表彰（3件）
8. 理事会・幹事会等会議の開催
9. 支部ホームページの開設

北信越支部

1. 2007年度北信越支部総会の開催（5月12日 信州大学理学部）
2. 研究発表会・製品発表検討会の開催（5月12日 信州大学理学部 参加者：60名）
3. 講演会の開催
北信越支部創立20周年記念講演会（12月10日 アトリウム長岡 参加者：43名）

4. 見学会の開催

第13回雪形ウォッチング（5月19, 20日 北海道倶知安町・蘭越町等 参加者：49名）

5. 学習会の開催（4月18日 長岡市 参加者：63名, 12月20日 新潟市 参加者：56名, 3月11日 上越市 参加者：41名）

6. 講習会の開催 なし

7. 各種共催事業（1件）

8. 後援事業（0件）

9. 機関誌「雪氷北信越」27号の刊行

10. 北信越支部ホームページの更新

11. 2007年度北信越支部賞の表彰（5件）

12. 理事・幹事合同会議の開催（3回）

13. 顧問・評議員会の開催（1回）

関東・中部・西日本支部

1. 支部総会の開催（4月12日, 東京・化学会館）

2. 支部役員会の開催（4月12日、東京・化学会館；9月27日、富山・富山大学）

3. ニュースレターNo. 70の発行（6月11日）

4. 関西分会学習会の開催（2月1日, 近畿大学農学部 小南靖弘氏『温室効果ガスの動態における積雪の役割』）

5. 「雪を調べる」活動（2月28日、奥日光 山王峠）

6. 2008年度全国大会準備（準備委員会開催5月17日、6月22日、7月26日、9月12日、雪工学会との合同幹事会開催10月31日、1月18日）

氷河情報センター

1. 総会の開催（9月25日 富山市）

2. ミニシンポジウムの開催（9月25日 富山市）

3. Bulletin of Glaciological Research (BGR) のバックナンバーの電子化

4. 過去に出版した氷河情報センターモノグラフの電子化

5. 雑誌「雪氷」69巻3号掲載の氷河情報センターニュース No. 29 ならびに WEB を通じての氷河情報の提供

6. 世界各地の氷河研究に関する資料等の収集

7. 氷河の研究・調査活動に対する援助と啓蒙

極地雪氷分科会

1. 総会およびミニシンポジウムの開催(9月25日に富山大学にて開催、報告15件、講演1件、参加者24名)
2. 各ワーキンググループ(WG)、委員会による研究推進
 - 1) 第VI期および第VII期南極観測WG
 - 2) 第2期ドーム計画研究委員会
 - 3) 南極観測将来計画検討WG
3. 極地雪氷分科会HPの更新ならびにこのHPを利用した極地雪氷に関する情報発信

凍土分科会

1. 総会の開催(7月14日 名古屋市 参加者:14名)
2. スモールセミナー(LNG地下式貯槽)の開催(9月16日~17日 白老町)
3. その他の活動
 - 3-1. 凍土分科会のホームページの運営

雪崩分科会

1. 総会・研究会の開催(9月27日 富山市 講演:5件 参加者:48名)
2. 第11回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーの開催(9月25日 富山市 参加者:50名)
3. 福島祐介追悼記念セミナーの開催(12月19日 長岡市 43名)
4. 雪氷学会主催「第18回雪崩対策の基礎技術研修会」の開催協力(1月17~18日 新潟県湯沢町 参加者:36名)
5. ニュースレターNo.39, 40の刊行
6. ホームページの更新と管理
7. 雪崩分科会メーリングリストの運営と管理
8. 「雪氷」の雪崩特集号発行に向けた編集協力
9. 雪崩研修会のテキスト改訂に向けた編集協力

雪氷物性分科会

1. 総会・2007年度雪氷物性シンポジウムの開催(9月27日 富山市 講演:2件 参加者:30名)

衛星観測分科会

1. 総会・研究会の開催(9月27日 富山市 講演:2件 参加者:18名)

雪氷工学分科会

1. 総会（第15回）の開催（9月25日 富山市 参加者：21名）
2. 構造物の大気着氷に関する国際ワークショップ（IWAIS）2007
3. ホームページの運営と管理

雪氷化学分科会

1. 総会・講演会の開催（9月27日 富山市 講演：1件 参加者：29名）
2. ホームページの更新
3. 雪合宿の実施（2008年3月13日～3月15日 北海道上川郡東川町 大雪山旭岳 参加者14名）

気象水文分科会

1. 総会・分科会内規の決定および施行（9月27日 富山市 参加者：25名）
2. ミニワークショップの開催（9月27日 富山市 紹介講演：4件 参加者：26名）

吹雪研究会

1. 研究会の開催（9月25日 富山市 参加者：19名）
2. 雪氷「吹雪特集号」の企画
3. 分科会移行に関する検討

(2) 収支決算

2007年度収支計算書(案)
通常会計
2007/04/01～2008/03/31

(収入の部)

(単位円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考
1. 基本財産運用収入	581,400	581,400	0	
基本金利息	288,400	288,400	0	
井上基金利息	293,000	293,000	0	
2. 会費収入	12,685,000	12,601,000	-84,000	
正会員会費	6,866,000	6,616,000	-250,000	
特別会員会費	580,000	550,000	-30,000	
賛助会員会費	3,430,000	3,430,000	0	
購読会員会費	1,704,000	1,740,000	36,000	
分科会会費	105,000	265,000	160,000	
3. 事業収入	16,129,000	13,043,076	-3,085,924	
全国大会収入	3,000,000	3,619,323	619,323	
研修会収入	1,070,000	1,027,700	-42,300	
IWAIS2007国際WS	7,400,000	5,066,682	-2,333,318	
広告収入	1,040,000	579,000	-461,000	
出版収入	3,619,000	2,750,371	-868,629	
4. 助成金	1,000,000	800,000	-200,000	
公開シンポジウム	1,000,000	800,000	-200,000	
5. 内部移管勘定	1,506,000	3,167,493	1,661,493	
交付金支部収入	1,156,000	1,156,000	0	
事業収支差額(収入)	350,000	1,761,493	1,411,493	
広告支部受け取り金	0	0	0	
支部・分科会	0	250,000	250,000	
6. 資産勘定からの繰入	623,660	713,660	90,000	
基金からの取り崩し	623,660	713,660	90,000	
その他	0	0	0	
7. 雑収入	316,920	1,064,880	747,960	
中谷奨励賞選考委託	300,000	300,000	0	
雪崩調査活動寄付金	0	250,000	250,000	
受取利息	1,920	12,879	10,959	
雑収入	15,000	2,001	-12,999	
IWAIS2007国際WS運転資金	0	500,000	500,000	
当期収入合計 a	32,841,980	31,971,509	-870,471	
前期繰越収支差額	7,630,276	8,228,582	598,306	
収入合計 b	40,472,256	40,200,091	-272,165	

(支出の部)

(単位円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考
1. 事業支出	20,514,660	14,623,007	-5,891,653	
全国大会支出	2,500,000	2,529,965	29,965	
研修会等支出	2,440,000	2,222,660	-217,340	
IWAIS2007国際WS	6,900,000	2,809,048	-4,090,952	
出版支出	7,699,660	6,071,195	-1,628,465	
賛助配布予稿集	150,000	115,883	-34,117	
学会ホームページ	95,000	117,329	22,329	
褒賞費	140,000	360,772	220,772	
研究助成費	590,000	396,155	-193,845	
2. 管理費	10,719,800	9,540,399	-1,179,401	
事務費	2,088,840	1,799,019	-289,821	
給与等人件費	3,575,000	3,698,086	123,086	
家賃・共益費	2,922,000	2,922,000	0	
委員会費	914,960	20,340	-894,620	
会議費	1,011,000	879,708	-131,292	
役員選挙費	0	0	0	
支払い手数料	152,000	172,086	20,086	
雑費	56,000	49,160	-6,840	
3. 内部移管勘定	1,506,000	3,167,493	1,661,493	
交付金本部支出	1,156,000	1,156,000	0	
事業収支差額(支出)	350,000	1,761,493	1,411,493	
広告支部受取金	0	0	0	
支部・分科会	0	250,000	250,000	
4. 資産勘定への繰入	0	4,819,660	4,819,660	
当期支出合計 c	32,740,460	32,150,559	-589,901	
当期収支差額 a-c	101,520	-179,050	-280,570	
次期繰越収支差額 b-c	7,731,796	8,049,532	317,736	

社団法人日本雪氷学会 財産目録

2008年3月31日現在

科 目	金 額		
1.資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現金			
本部	16,536		
本部(編集委員会)	641		
北海道支部	165,152		
東北支部	0		
北信越支部	20,666		
関東以西支部	3,938		
氷河情報センター	0		
極地雪氷分科会	0		
雪崩分科会	35,079		
雪氷工学分科会	0		
雪氷物性分科会	0		
凍土分科会	0		
		242,012	
預貯金			
本部:三井住友銀行 飯田橋支店 6321723	5,504,107		
三井住友銀行 飯田橋支店 6802408	978,444		
通常郵便貯金	50,516		
北海道支部:北洋銀行 北7条支店	112,856		
東北支部:通常郵便貯金	159,599		
北信越支部:北越銀行 大島支店	151,546		
関東以西支部:りそな銀行 板橋支店	396,149		
氷河情報センター:三菱東京UFJ銀行 板橋支	26,127		
極地雪氷分科会:通常郵便貯金	34,336		
雪崩分科会:通常郵便貯金	4,435		
雪氷工学分科会:横浜銀行 川崎支店	7,860		
		7,425,975	
振替口座			
本部:00150-8-134091	276,635		
本部:00130-0-776480	0		
東北支部:02330-8-14680	0		
北信越支部:00610-9-4671	8,180		
極地雪氷:02780-6-26837	0		
雪崩分科会:00670-0-26949	96,730		
雪氷工学:00510-2-72971	0		
		381,545	
未収金			
本部	4,490,950		
未収会費	4,370,000		
その他未収金	120,950		
		4,490,950	
棚卸資産			
本部	1,733,708		
北海道支部	21,840		
東北支部:	109,000		
北信越支部	110,331		
関東以西支部	4,200		
		1,979,079	
流動資産合計			14,519,561

社団法人日本雪氷学会 財産目録

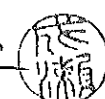
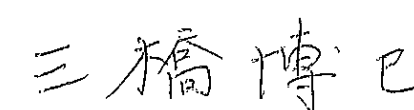
2008年3月31日現在

2.固定資産				
基 本 財 産				
第268回利付国債	2,300,000			
東京都公募公債第762回	10,000,000			
東京都公募公債第619回	10,000,000			
東京都公募公債第619回	3,000,000			
京都市平成10年度第2回公募公債	11,000,000			
埼玉県平成13年度第3回公募公債	5,000,000			
		41,300,000		
その他の固定資産				
支部・分科会活動支援基金	10,976,000			
郵便定額貯金	9,336,000			
銀行定額預金	1,640,000			
敷金				
神田駿河台日本化学会館3F	2,115,000			
電話加入権				
H18-01001752, H14-01002635	149,968			
		13,240,968		
固 定 資 産 合 計			54,540,968	
資 産 合 計				69,060,529
2.負債の部				
1.流 動 負 債				
前受金				
会費収入前受(2008・2009年度分)	5,038,000			
		5,038,000		
預り金				
源泉徴収税・保険料				
本部	44,469			
		44,469		
流 動 資 産 合 計			5,082,469	
負 債 合 計				5,082,469
正 味 財 産				63,978,060
負債・正味財産				69,060,529

社団法人 日本雪氷学会

監事

監事


社団法人 日本雪氷学会

正味財産増減計算書

(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

科目	金	額
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
固定資産増加額	4,106,000	
流動負債減少額	294,323	
増加額合計		4,400,323
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
当期収支差額	179,050	
流動資産減少額	574,144	
減少額合計		753,194
当期正味財産増加額		3,647,129
前期繰越正味財産額		60,330,931
期末正味財産合計額		63,978,060

貸借対照表

(2008年3月31日現在)

科目	金	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	242,012	
預貯金	7,425,975	
振替口座	381,545	
未収金	4,490,950	
棚卸資産	1,979,079	
流動資産合計		14,519,561
2. 固定資産		
基本財産		
国債	2,300,000	
地方債	39,000,000	
基本財産合計		41,300,000
その他固定資産		
支部・分科会活動支援基金	10,976,000	
敷金	2,115,000	
電話加入権	149,968	
その他固定資産合計		13,240,968
固定資産合計		54,540,968
資産合計		69,060,529
II. 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	5,038,000	
預り金	44,469	
流動負債合計		5,082,469
負債合計		5,082,469
III. 正味財産の部		
正味財産		63,978,060
(内当期正味財産増加額)		3,647,129
負債及び正味財産合計		69,060,529

(注) 1. 有価証券は、取得価格で表記した。

2. 資金の範囲は、現金預金とする。

3. 基本財産の増減はない。当期末残高は、41,300,000円。

4. 支部・分科会活動支援基金の期末残高の内訳は次のとおり。

本部: 5,641,059円 北海道支部: 490,000円 東北支部: 417,000円

北信越支部: 520,000円 関東以西支部: 1,042,000円 氷河情報センター: 913,000円

極地雪氷分科会: 20,000円 凍土分科会: 11,588円 雪崩分科会: 650,000円

雪氷物性分科会: 2,353円 雪氷工学分科会: 1,269,000円

監 査 報 告 書

社団法人日本雪氷学会

会長 藤井 理行 殿

2008年5月21日

社団法人日本雪氷学会

監事 三橋 博巳

監事 成瀬 廉二

民法第59条および本学会定款の定めるところにしたがい、2007年度（2007年4月1日～2008年3月31日）における、社団法人日本雪氷学会の会計ならびに業務の監査を実施した結果、以下の通り報告する。

1. 監査の方法

- 1) 本法人財産については、決算報告書、経理関係書類ならびに証憑類を閲覧、照合するなど、必要と思われる監査手段を用いて、経理処理と財産管理の正確性および的確性を検証した。
- 2) 理事の業務執行状況については、理事会へのオブザーバー出席および各種事業に関わる書類の閲覧などを行い、その適法性および妥当性を検討した。

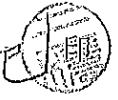
2. 監査意見

- (1) 経理および財産管理については、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録の記載は会計帳簿等の記載と一致し、適正に執行されたことを証する。
- (2) 2007年度全国大会（富山市）は日本雪氷学会との同時期・一部合同開催として実施されたが、両学会の事前の協議により各学会の経費分担割合が明確に設定されたため、大会の収支決算報告は明瞭かつ書類の不備なく、適正であったことを認める。
- (3) 理事の職務執行および組織の運営については、法令ならびに学会定款に背くもしくは不適正な行為はなかったと判定する。
- (4) 当学会の財政状況は、役員ならびに会員の努力と協力により、2、3年前の危機的状態からやや脱した感があり、健全財政の安定軌道に踏み入れつつあるように見える。2007年度は、実施事業に特別な事情があったこともあり、総事業支出額が予算を下

回り、結果として支部・分科会活動支援基金に多額が繰り入れられ、同基金の総額が1千万円を超えることとなった。基金が増えることは歓迎すべきこととも言えるが、長期にわたり計画性もなく貯蓄しておくのは意味がない。本基金を、学会の活性化および発展につながるよう、有効に活用すべきであることを指摘する。

- (5) 機関誌出版は、研究発表会開催と並んで学会の主要な柱の一つである。しかるに、「雪氷」に掲載される論文等の数が（特集を除くと）この2、3年漸減しつつあり、BGRも2007年に電子化するとともに論文数が半減した。もし、この現象が長期的傾向を反映しているとする、と、学術団体としては大変憂慮すべき事態である。財政的にも、公益目的事業比率が低下することは、新公益社団法人の認定基準に抵触する可能性もある。担当理事、委員会のみではなく、学会全体として改めて「機関誌出版の在り方」について検討を行うべきことを提言する。

監事署名

三橋 博 

監事署名

成瀬 康二 

第2号議案 2008年度事業計画並びに収支予算書について

(1) 事業計画

1. 研究会等の開催（定款第5条2号）

- 1-1. 2008年度雪氷研究東京大会を9月24～27日に東京で開催する（日本雪工学会と合同）。
- 1-2. 第19回雪崩対策の基礎技術研修会を開催する。
- 1-3. 公開シンポジウムを開催する（9月27日、科研費事業「雪氷楽会in東京」）。
- 1-4. 日本地球惑星科学連合2008大会の中で、レギュラーセッションとして「雪氷学」、「雪氷圏と気候」、「コア研究が拓く地球環境変動史」を開催する（5月）。
- 1-5. 各種講演会等の共催，協賛，後援を行なう。
- 1-6. 各支部・分科会等において研究会等を開催する。

2. 会誌等の刊行（定款第5条3号）

- 2-1. 学会誌「雪氷」の第70巻3号～6号，第71巻1号～2号を刊行する。
- 2-2. Bulletin of Glaciological Research (BGR) Vol.26を刊行する。
- 2-3. 北海道支部で機関誌「北海道の雪氷」27号，ニューズレター（2～3回）を刊行する。
- 2-4. 東北支部で機関誌「東北の雪と生活」23号，ニューズレター（2～3回）を刊行する。
- 2-5. 北信越支部で機関誌「雪氷北信越」28号を刊行する。
- 2-6. 関東・中部・西日本支部で機関誌「雪氷フォーラム」9号，ニューズレター（1回）を刊行する。

3. その他の事業（定款第5条4号）

- 3-1. 日本雪氷学会学会賞の表彰を行なう。
- 3-2. 中谷宇吉郎科学奨励賞の候補者を推薦する。
- 3-3. それぞれの支部が各種活動を行なう。
- 3-4. 当法人に設置された分科会，研究会が各種活動を行なう。
- 3-5. 井上フィールド科学研究基金による研究助成を行なう。

4. 総務事項

- 4-1. 2008年度通常総会，理事会ならびにその他会合を開催する。
- 4-2. 2009・2010年度役員選挙を行なう。
- 4-2. 各委員会が活動を行なう。

（各支部・分科会等の計画の詳細は別添の活動計画を参照）

北海道支部

1. 支部総会の開催（札幌市）
2. 春の講演会の開催（札幌市）
3. 研究発表会の開催（札幌市）
4. 機関誌「北海道の雪氷」27号の刊行
5. ニュースレターの刊行（2～3回）
6. 地域講演会の開催
7. 積雪講習会の開催（札幌市）
8. 理事会・幹事会等会議の開催
9. 支部ホームページの運営
10. 北海道支部創立50周年記念事業準備委員会の開催
11. 雪氷災害調査チームの活動
12. 研究成果普及事業

東北支部

1. 支部総会の開催（新庄市）
2. 支部研究発表会の開催（新庄市）
3. 特別講演会の開催
4. 機関誌「東北の雪と生活」23号の刊行
5. ニュースレターの刊行（2～3回）
6. 地方講演会の開催（1～2回）
7. 見学会または雪に関する講習会の開催（1～2ヶ所）
8. 理事会の開催
9. 東北雪氷賞選考委員会の開催
10. 2008年度東北雪氷賞の表彰

北信越支部

1. 支部総会の開催（長岡市）
2. 研究発表会・製品発表検討会の開催（長岡市）
3. 講演会の開催（1回）
4. 見学会の開催（新潟・長野地区，富山・石川・福井地区で各1回）
5. 学習会の開催（新潟地区，長野地区，富山地区，石川地区，福井地区で計5回）

6. 講習会の開催（1回）
7. 機関誌「雪氷北信越」28号の刊行
8. 2008年度北信越支部賞の表彰
9. 理事・幹事合同会議の開催
10. 顧問・評議員会の開催

関東・中部・西日本支部

1. 支部総会の開催（東京）
2. 関東分会雪氷サロン（1回）
3. 関西分会講演会（1回）
4. 積雪観測講習会（1回）
5. ニュースレターの刊行（1回）
6. 機関誌「雪氷フォーラム」第9号の刊行
7. 役員会（理事幹事合同会議）の開催（1～2回）
8. 各分会役員会の開催（随時）

氷河情報センター

1. 総会の開催
2. 雑誌「雪氷」ならびにWEBを通じての情報の提供
3. 過去に出版した氷河情報センターモノグラフのWEB公開
4. ミニシンポジウム開催の検討
5. 世界各地の氷河研究に関する資料等の収集
6. 氷河の研究・調査活動に対する援助と啓蒙

極地雪氷分科会

1. 総会の開催
2. ミニシンポジウムの開催
3. 各ワーキンググループによる研究推進
4. ホームページの充実

凍土分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催

3. 凍土スモールセミナーの開催
4. ホームページの活用

雪崩分科会

1. 総会の開催
2. 研究会の開催
3. ニュースレター刊行 (2回)
4. 第12回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーの開催
5. 第19回雪崩対策基礎技術研修会の開催協力
6. 分科会会員に対する研究協力
7. ホームページの充実と活用
8. メーリングリストの活用

雪氷物性分科会

1. 総会の開催
2. 雪氷物性シンポジウムの開催

衛星観測分科会

1. 総会の開催
2. 研究会の開催
3. 分科会会員の研究協力
4. 衛星データ利用情報の提供

雪氷工学分科会

1. 総会の開催
2. 雪氷工学に関する情報交換
3. 着氷雪研究会のフォローアップ
4. その他

雪氷化学分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. 分科会ホームページの更新

4. 雪合宿の実施

気象水文分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. メーリングリスト（兼会員名簿）の作成

吹雪分科会

1. 総会の開催
2. 講演会の開催

(2) 収支予算

2008年度収支予算書(案)

通常会計

2008/04/01~2009/03/31

(収入の部)

(単位円)

科 目	2008年度予算 (A)	2007年度予算 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
1. 基本財産運用収入	581,400	581,400	0	
基本金利息	288,400	288,400	0	
井上基金利息	293,000	293,000	0	
2. 会費収入	12,553,720	12,685,000	-131,280	
正会員費会費	6,784,720	6,866,000	-81,280	
特別会員費	550,000	580,000	-30,000	
賛助会員費	3,510,000	3,430,000	80,000	
購読会員費	1,524,000	1,704,000	-180,000	
分科会員費	185,000	105,000	80,000	
支部会員費	0	0	0	
3. 事業収入	7,295,500	16,129,000	-8,833,500	
全国大会収入	2,850,000	3,000,000	-150,000	
研修会収入	1,070,000	1,070,000	0	
IWAIS2007国際WS	0	7,400,000	-7,400,000	
広告収入	312,000	1,040,000	-728,000	
出版収入	3,063,500	3,619,000	-555,500	
4. 助成金	950,000	1,000,000	-50,000	
公開シンポジウム	950,000	1,000,000	-50,000	
5. 内部移管勘定	1,315,000	1,506,000	-191,000	
交付金支部収入	1,140,000	1,156,000	-16,000	
事業収支差額(収入)	175,000	350,000	-175,000	
広告支部受け取り金	0	0	0	
6. 資産勘定からの繰入	1,390,000	623,660	766,340	
活動支援基金からの繰り入	1,390,000	623,660	766,340	
その他	0	0	0	
7. 雑収入	349,416	316,920	32,496	
中谷奨励賞選考委託	300,000	300,000	0	
受取利息	9,416	1,920	7,496	
雑収入	40,000	15,000	25,000	
当期収入合計 a	24,435,036	32,841,980	-8,406,944	
前期繰越収支差額	8,166,323	7,630,276	536,047	
収入合計 b	32,601,359	40,472,256	-7,870,897	

(支出の部)

(単位円)

科 目	2008年度予算 (A)	2007年度予算 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
1. 事業支出	12,325,300	20,514,660	-8,189,360	
全国大会支出	2,700,000	2,500,000	200,000	
研修会等支出	2,376,000	2,443,660	-67,660	
調査活動支出	50,000	0	50,000	
IWAIS2007国際WS	0	6,900,000	-6,900,000	
出版支出	6,110,300	7,696,000	-1,585,700	
賛助配布予稿集	150,000	150,000	0	
学会ホームページ	125,000	95,000	30,000	
褒章費	274,000	140,000	134,000	
研究助成費	540,000	590,000	-50,000	
2. 管理費	10,248,340	10,719,800	-471,460	
事務費	1,974,240	2,088,840	-114,600	
給与等人件費	3,855,000	3,575,000	280,000	
家賃・共益費	2,922,000	2,922,000	0	
委員会費	165,000	914,960	-749,960	
会議費	976,000	1,011,000	-35,000	
役員選挙費	140,000	0	140,000	
支払い手数料	162,100	152,000	10,100	
雑費	54,000	56,000	-2,000	
3. 内部移管勘定	1,315,000	1,506,000	-191,000	
交付金本部支出	1,140,000	1,156,000	-16,000	
事業収支差額(支出)	175,000	350,000	-175,000	
広告支部受取金	0	0	0	
4. 資産勘定への繰入	50,000	0	50,000	
当期支出合計 c	23,938,640	32,740,460	-8,801,820	
当期収支差額 a - c	496,396	101,520	394,876	
次期繰越収支差額 b - c	8,662,719	7,731,796	930,923	